



## 入学式

4月9日(金)、麗らかな春の日の下、京都府立丹後緑風高等学校第2回入学式を挙行了しました。式は、昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大の予防対策を徹底した上で実施しました。

網野・久美浜両学舎合計135名の新入生は各担任から呼名を受け、大村校長から入学許可を受けました。ウイルス対策の観点から、新入生の返事はなかったものの、その立ち姿からは高校生としての決意を感じられました。

校長式辞では、久美浜高校と網野高校の伝統を受け継ぎ、夢や目標をもち、高校生活を送ってほしい。大切にしてほしいこととして、「真の学びを追究すること」「規律と責任を持って行動すること」「豊かな人間関係を創ること」「たくましい心と体を培うこと」「地域をよく知ること」という5つの指針を新入生に送りました。

新入生を代表して、網野学舎の吉野颯亮さん(網野中出身)と久美浜学舎の中地叶さん(久美浜中出身)が新入生代表として、本校の規則をよく守り、生徒としての本分を尽くすことを宣誓しました。

最初のLHRは別会場を用意してリモート中継にて保護者の方々に見ていただきました。



## 始業式

4月8日(木)、始業式に先立ち、人事異動に伴う離任式ならびに着任式が行われました。はじめに、新たに着任した後藤文彦副校長が挨拶をしました。

続いて、離任した先生からのメッセージが読み上げられた後、着任した先生方が紹介され、代表して中村ゆかり先生が着任の挨拶をしました。

引き続き、令和3年度第1学期始業式を行いました。式辞で大村校長は、本校の「教育目標」「教育方針」「育てる生徒像」を確認し、全校生徒と改めて共有しました。そして、茶道家の言葉を引用し、「型(カタ)」となる具体的な目標・志を明らかにして、日々粘り強く取り組むことで、自身の『チ』が入った「形(カタチ)」にしていけることが肝要であると話しました。



## 伝達表彰・壮行会

4月8日(木)、生徒会執行部による伝達表彰ならびに壮行会を行いました。伝達表彰ではレスリング部が登壇し、大村校長から表彰を受けました。

《伝達表彰》

令和2年度第64回全国高等学校選抜レスリング大会

学校対抗戦 第5位

個人対抗戦 60kg級 第5位 松田來大さん

(網野中)

65kg級 第5位 細川周さん

(網野中)



続いて壮行会に移り、4月10日から11日まで東京都駒沢オリンピック公園総合運動場体育館で行われるJOCジュニアオリンピックカップ令和3年度ジュニアクィーンズカップレスリング選手権、及び4月24日から25日まで神奈川県横浜武道館で行われるJOCジュニアオリンピックカップ大会・2021年度全日本ジュニアレスリング選手権大会に出場する6名の選手が紹介されました。

奥野生徒会長と大村校長からそれぞれ激励の言葉が送られた後、選手を代表して細川周さんが勝利に向けた決意を力強く述べ、生徒から温かい拍手が送られていました。

## 新入生オリエンテーション

4月12日(月)、1年生を対象に新入生オリエンテーションを行いました。1年生は人権教育担当、教務部、生徒指導部、進路指導部からそれぞれ講話を聞いて、高校で初めて知る様々なシステムや高校生としての心構えなどについて学びました。新入生にとっては、本日が本格的な学校生活のスタートとなりました。



## 生徒会オリエンテーション

4月16日(金)、生徒会執行部が主催する生徒会オリエンテーションが行われました。入学して間もない1年生に対して、生徒会の取組や行事の紹介、そして部活動の紹介がありました。部活動紹介では、例年とは違うコロナ禍だからこそ、各部ともいつも以上に工夫を凝らして、明るく元気に、ときにはユーモアを交えながら、様々なパフォーマンスを披露して、部活動の特色や魅力を思いっきりアピールしました。

